

## 第 124 号

編集・発行

2020・1・28

社会福祉法人  
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132  
三戸町大字在府小路町 17  
0179 (22) 0262

# さんのへ 社協だより

## 令和2年 新年号

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



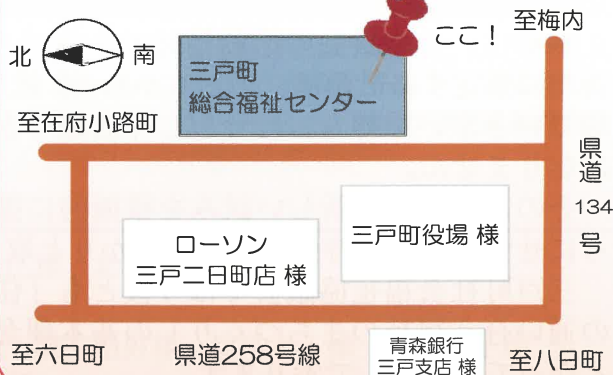
第48回三戸町社会福祉大会 たくましい演技を見せてくれた三戸保育園のみなさん (R1.11.8 三戸町民体育館)

### ■ おもな内容

ページ

- 新年のごあいさつ.....2
- 第48回三戸町社会福祉大会.....3
- 子どもほのぼの交流員の取り組み.....4、5
- 雪かきボランティアの募集.....5
- 福祉団体トピックス.....6
- 昔とった杵柄シルバー健在.....7
- 各種お知らせ.....8

### 社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

# 令和 2 年 新年のごあいさつ



三戸町社会福祉協議会  
会長 関 向 文 男

新年あけましておめでとうございます。

令和 2 年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より地域福祉事業の推進に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年三戸町の人口がついに 1 万人を割り、全人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合を示す高齢化率も 40%を超えるなど、人口減少と少子高齢化が一層進行しております。

高齢者の人口が増加する一方で、高齢者福祉の推進を担う最も地域に身近な団体である老人クラブの会員数、加入率は年々減少傾向にあり、平成元年には会員数 1,750 名、60 歳以上の加入率は 60%を超えておりましたが、平成 31 年 4 月には会員数 630 名、60 歳以上の加入率も約 13%と、平成の 30 年の間に 1/3 程度まで規模が縮小し、これまで老人クラブが担ってきた役割が徐々に果たせなくなってきたのが現状であります。

このような中で、当協議会では平成 30 年 10 月から翌年 1 月にかけて町内 21 ヶ所で地域福祉懇談会を開催し、170 名以上の町民の皆様と福祉課題や地域に望むことなどについて懇談し、たくさんのご意見をいただきました。

去年は、この懇談会の内容を踏まえ、子育て世帯への支援を目的として乳児おむつ等購入費助成事業、福祉教育の一層の充実を目的とした小中学校に対する福祉図書購入費助成事業、認知症への正しい理解を広め住民と専門職が気軽に対話できる場所であるオレンジカフェの開設など、新規事業に積極的に取り組んだ一年でありました。

本年は、当協議会の活動指針である三戸町地域福祉活動計画の最終年度であります。新たに策定する計画は、子どもから 65 歳以上のシルバー世代、その誰もがそれぞれの地域でいきがいを持ち、自分らしく活躍できる地域共生社会の実現に向けたものでなくてはなりません。

そのためにも、新しい試みを積極的に提案していくのと同時に伝統や慣習もないがしろにせず、令和の時代の舵をしっかりと取っていかなければならないと考えております。

三戸町社会福祉協議会では今後とも「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる、心の通い合う福祉のまちづくり」の基本理念のもと、地域福祉の一層の向上に役職員一丸となって取り組んで参ります。

結びに、皆様にとりまして、本年が健康で幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

# 第48回三戸町社会福祉大会を開催しました

令和元年11月8日(金)、第48回三戸町社会福祉大会を三戸町民体育館において開催し、福祉関係者はもとより、町民の皆さんにも多数ご参加いただきました。

当日は五戸町にある東北メディカル学院理学療法学科で教鞭をとる、桜田由紀子先生を講師に迎え、「いつまでも自分のあしで歩こう」と題してご講演いただいたほか、大会式典において福祉の向上に貢献された方々に対する表彰状と感謝状の贈呈が行われました。

また、式典の開催に先駆けて、三戸保育園の園児の皆さんによるニューソーラン節の披露や、小中高生による福祉の意見発表が行われ、大会に華を添えました。

## 講演～いつまでも自分のあしで歩こう～



講師の桜田由紀子先生。これからも健康で自分の足で歩きたいというテーマ「アソビ」につながるお話をしてくれました。太腿の筋力維持として紹介された運動も好評でした

## 福祉の意見発表～小中高生3名が発表～



発表者は水梨紘佳さん(三戸中)、立花愛希さん(斗川小)、増田光稀さん(三戸高)  
写真は増田光稀さん。発表題は「私と福祉」

## 大会式典～13名、3団体が受賞～



感謝状を手渡す関向社協会長(左)と郵便局長会青東地区三戸部会の秋元田子郵便局長。郵便局長会様からはおとし12月に福祉用具の寄贈を受けており、今大会での感謝状贈呈となりました

## 大会式典～受賞者代表謝辞～



受賞者を代表して謝辞を述べられた、三戸保育園の原理香様。この受賞を励みに一層の社会福祉の向上に努めたいと述べられると、会場から受賞者の皆さんに大きな拍手が送られました

## 受賞者名簿

- 民生委員児童委員:金ヶ森一江様 北村美恵子様
- 社会福祉法人職員:原理香様
- ほのぼの交流協力員:上野由美子様 田中幸子様 襲主昭男様 松尾キミ様 山田慶子様
- 福祉団体:澤田徳子様 ■社協役員:佐藤幸夫様
- 社協評議員:小山田孝兆様 米田みや様 山口幸俊様
- 感謝状:三戸中央病院看護師会様 橋爪商事株式会社三戸支店様 郵便局長会青東地区三戸部会様



# 子どもほのぼの交流会

～おも

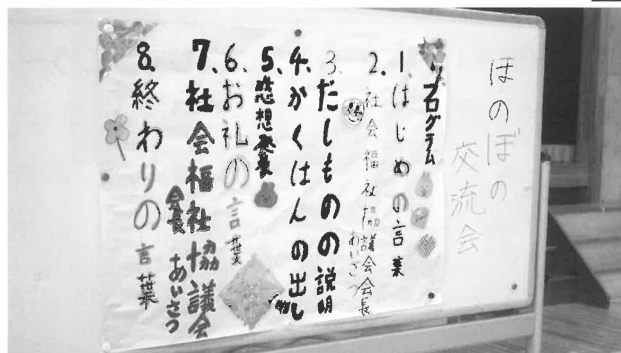
令和元年9月26日(木)に子どもほのぼの交流会を開催し、三戸小学校4年生児童57名と地域の高齢者との接し方を学んだうえで、「どうしたら交流会に来てくれる高齢者が喜んでくれるだろう」と当日は、まさにそうした準備が実を結び、いい笑顔が溢れる交流会となりました。

## 事前に行ったガイダンスの様子



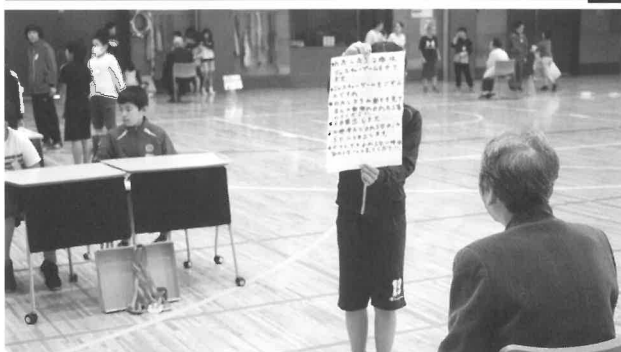
ガイダンスでは、どんなことが出来るか、それぞれの班で意見を出し合いました

## 手づくりの当日プログラム



交流会当日、会場には子どもたちが作った大きなプログラムが

## ゲームのルールを説明



分かりやすいように大きな文字と大きな声で説明しています

## 子どもたちがダンスをレクチャーする様子



流行りのダンスを披露した後は、一緒に踊れるように高齢者に子どもたちがレクチャーしました

## 玉入れゲームの様子



時間内にたくさん入るように、子どもたちが声援と玉拾いでサポート

## 一緒にトランプをする様子



大きく見やすいトランプを使っています

# てなしの心で小学生が高齢者とふれあい～

高齢者8名が交流を深めました。児童は9月2日(月)に行ったガイダンスで三戸町の高齢化の現状や  
いう考えのもと、交流会の3週間以上前からアイデアを出し合い、練習を重ねてきました。

## 参加者に本の朗読と手作りの小物をプレゼント



朗読する本とプレゼントは参加者自身に選んでもらいました

## 交流会の感想を述べる参加者



とても楽しかった、子どもたちの気遣いが嬉しかった  
と参加者から感想がありました

## 最後は笑顔でお別れ



交流会の最後は全員と握手をしてお別れしました

子どもほのぼのの交流会は福祉教育の一環として、  
毎年開催しています。

平成13年度に三戸北小学校で始まったこの活動が  
三戸小学校に引き継がれたのが平成22年、今年度で  
ちょうど10年目を迎えました。

かつては子どもたちが高齢者宅を訪問して交流して  
いましたが、時代の変化に合わせて現在のスタイルに。

毎年、子どもたちが創意工夫を重ね、年度ごとに  
特色ある活動がなされています。

## 雪かきボランティアを随時募集しています

社会福祉協議会では自力では雪かきが困難な高齢者世帯等の除雪を担う、除雪支援員を随時募集しています。  
除雪を必要としている人に対し、支援員はまだまだ足りていません。除雪を必要とする人が安心して生活できるよう、  
是非ともご協力をお願い致します。

■年齢性別：不問 ■活動期間：～令和2年3月末まで

■報酬：1時間あたり1,000円

■内容：15センチ以上の降雪時に利用者宅の玄関から生活道路までの区間  
(大人が並んで歩ける程度の幅)

■登録方法：社会福祉協議会までご連絡ください



## 福祉団体トピックス

### 三戸町シニアクラブ連合会

#### 第41回三戸郡老人スポーツ大会 階上町が14連覇！三戸町は第4位

三戸郡老人クラブ連合会主催の第41回三戸郡老人スポーツ大会が10月4日（金）に五戸町の五戸ドームで行われ、郡内6町村から選手およそ300人が参加し、熱戦を繰り広げました。

三戸町からは8月に開催した第45回三戸町シニアスポーツ大会の結果を踏まえて町内各クラブから選出された代表選手28名が参加。3位以内への入賞を目標に、合同練習を行うなど、ONE TEAMで挑みましたが、一歩及ばず4位に終わりました。

優勝は階上町で大会14連覇を達成。閉会後は来年こそはと決意を新たにすべく、参加者有志主催で反省会が催されました。



ナイスキャッチ～サッカーボールをバケツでキャッチ～



白熱した玉入れ競技

三戸町シニアクラブ連合会は、町内各地区の単位老人クラブで組織された連合組織です。入会を希望される方はお住まいの地区の老人クラブまたは社会福祉協議会にお問い合わせください。

### 三戸町身体障害者福祉会

#### 第12回三戸郡身体障害者スポーツ大会で見事優勝！

9月27日（金）、第12回三戸郡障害者スポーツ大会が南部町総合保健福祉センターゆとりあで行われました。

三戸町からは会員4名が参加、他町村に比べると少人数ではありましたが、序盤の競技から好成績を積み重ねて、最終種目を残して総合2位の好位置につけると、最終種目の玉入れで他を圧倒し逆転。平成28年以来の優勝となりました。



優勝旗を受け取る会員の村中さん(右)

会員は随時募集しています（年会費1,500円）入会を希望される方は社会福祉協議会までお問い合わせください。

昔とった杵柄

# シルバー健在



まつ はら ふみ お  
松原文雄さんの巻

昭和四年一月十七日生まれ 九十一歳

今回のシルバー健在は、農業一筋、90歳を過ぎても老人クラブやシルバー人材センターで元気に活躍中、豊川にお住まいの松原文雄さんをご紹介します。

松原さんは松原一郎さん、りわさんの6人兄妹の長男として昭和4年にお生まれになりました。どんなご両親でしたかと尋ねると「とにかく子ども達を案じる優しい両親でオレは一回も叱られた覚えがない。悪いことをしても論じて聞かせるそんな両親だったからか

兄妹も皆、おおらかな性格なんだ」と仰っていました。

少年時代は第二次世界大戦の真つ最中(松原さんが12歳のときに太平洋戦争が勃発)ということもあり、学校に通うことは仕事のようなもので友人と遊んだり、勉強に励んだりする環境ではなかったと言います。「月に一度、木炭の運搬の仕事があつてな。山から斗内の高等小学校まで2キロの山道を木炭を背負って歩くんだ、これが大変だったな」と松原さん。

終戦を迎えるころには、学校も卒業し、農家として忙しい毎日を送っていた松原さんは終戦後も大きく何かが変わったという実感はなかったそうです。

その認識が変わったのが、終戦から2、3年後の昭和23年頃。食卓に魚が並ぶのを見て、これから生活が豊かになっていくのだからと実感したそうです。(当時魚はまだ貴重で、当たり前前に食卓に並ぶようになるのは更に数年後だったようです)26歳のとき、田

子町出身で同い年のみおさんと結婚。2男2女を授かり、幸せな日々を送っていました。最愛の奥様が52歳の若さで他界、程なくお子さんも皆独立し、以来40年近くひとり暮らし。

昨年の春先に息子さんご夫婦が三戸に帰ってきて同居が始まったと聞き、さぞ嬉しかっただろうなとお話を伺うと

「少し照れた様子で」若い人の邪魔にならないように暮らしている(笑)一番変わったのは食事。息子夫婦はずっと八戸だったから、海の幸がよく食卓に出るようになった。出されたものは黙って食べる、余計な口は出さない、これが上手くやっていくコツだな」と話す様子も

楽しげ。

取材日は、お嫁さんから「取材に来た人に出してくださいね」と言われていると、美味しいリンゴ(早生ふじ)とコーヒー

をご馳走になりながら、お話を聞かせていただきました。

手間取りの人集めも大変になってきたので3年ほど前にリンゴ農家の規模は縮小したそうですが、75歳で誘われて入った老人クラブ豊川豊栄会ではまだまだ現役。8月のスポーツ大会でも大活躍。

シルバー人材センターでは農作業の経験を活かして草の刈り払い作業に従事。

いまの一番の楽しみは、毎年お盆に遊びに来る孫やひ孫が自宅で大騒ぎする様子を見ていること。

その大きく深いしわが刻まれた手は、農業一筋で歩んできた松原さんのたくましさとおおらかさの象徴でしょう。

どうぞこれからもお元気でいてください。



## 善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。(令和元年9月30日～令和元年12月31日まで)

<b>寄附金の部</b>	「看護ボランティア」陽だまりの会 様	20,000円
	青森県市町村職員年金者連盟三八支部 様	5,000円
	三戸町職員退職者福祉会 様	5,000円

**物品の部** 中村美枝子 様 .....ポータブルトイレ

寄せられた善意は地域福祉活動のために使わせていただきます。

### 心配ごと相談

心配ごと相談所では、相談員が心配ごとや困りごとの相談に対応しています。ひとりで悩まず、どんなことでもご相談ください。

- 開設日 毎月最終水曜日
- 時 間 午後1時 から 午後3時
- 場 所 三戸町総合福祉センター  
ふくじゅそう3階 小会議室3

### シルバー人材センター

屋内外の清掃や草取り、農作業など、身近なお仕事がありましたら、ぜひシルバー人材センターにご依頼ください。

シルバー人材センターの会員が真心を込めて作業いたします。

### 会員随時募集中!

皆さんの経験を地域のために役立ててみませんか

### オレンジカフェ ふくじゅそう

オレンジカフェは認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの拠点として、認知症の人や家族はもとより誰でも安心して人とつながり、専門家への相談もできるカフェです。

- 開店日 毎月第3火曜日  
午後1時30分～3時30分
- 場 所 三戸町総合福祉センター  
ふくじゅそう地下1階
- 参加費 ひとり100円
- 申込み 不要

これからのオレンジカフェ ～3月までの開催日をお知らせします～



2月  
18日(火)



3月  
17日(火)

美味しいコーヒーをご用意してお待ちしています。  
お気軽にお立ち寄りください♪

### 職員募集のお知らせ

当協議会では一緒に働く職員を募集しています。詳しくはハローワーク八戸、三戸町地域職業相談室(アップルドーム内)または当協議会担当者までお問い合わせください。

#### 訪問介護員(常勤契約職員)…若干名

- 応募資格 介護福祉士又は初任者研修修了者  
要普通自動車運転免許
- 勤務時間 7:00～23:00のうち8時間(シフト制)
- 休 日 週休2日(年間休日数 122日)
- 給 与 月給 142,000円～169,000円(処遇改善手当含む)  
別途、扶養手当、住宅手当、通勤手当有
- 賞 与 年2回(3ヶ月分※前年度実績)
- 福利厚生 社会保険、雇用保険、労災保険、退職金有

#### 訪問介護員(パート職員)…若干名

- 応募資格 介護福祉士又は初任者研修修了者  
要普通自動車運転免許
- 勤務時間 8:00～18:00のうち3～6時間(シフト制)  
週3日から4日
- 給 与 時給 800円～1,000円 別途手当有
- 福利厚生 労災保険
- その他  
すべてマイカー通勤可、無料駐車場有

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262